

NOTE BOOK

日記帳

一部六年

西川幸江



㊤

マールス5

48

正

四十枚

(定價拾四錢)

㊤



22



決戦の年

心勝の年



紀元二千六百五年 昭和二十年

一月一日 月 曇

疎開の学園でのお正月・朝早く目がさめて
しまひました。何だか嬉しさぐこみあげて
きて一人てにこにこしてしまひました。
御挨拶も

「お父様・お母様おめでたうございます。
といひました。今日から私は十四です。何だ
か十四だとはちつとも思へません。足もと
ても軽く進みました。ないての人が下
駄を下したので、見わたしたら大へん奇
麗でした。

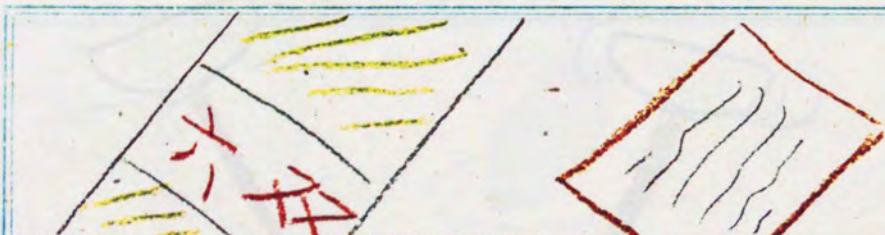
朝御飯はお雑煮でーん、お餅を五つに
たぐさしました。ほかほかと暖くて大へんお
いしかったです。

その後には皆で楽しく羽根つきをしまし
た。やる場所がないほどにぎやかでした。





十時からには拜賀式がありました。その後、
 東京都から来たのだいたいのちやのちや
 せんをしました。各組から、班長が出
 て、わつたり、私な
 ちは、童謡
 双六の
 あたり
 ました
 面白さ
 うな双
 六です。
 お昼食
 の時ご
 ほうと
 人参と
 煮たの
 とお魚が出ました。



校、宿舍へ歸つてから「愛國百人一首」をし
 ました。一度もやつ
 たことのない
 方もありま
 した。双六も
 しました。
 そして歌を
 歌つたり、藝
 をしたりし
 ました。大へ
 ん楽しい一
 日でした。疎
 開、学園のお
 正月きつとさ
 つと一生のい
 う記念にな
 ることであらう

皇は
 神に
 ませば
 大雲の
 雷の上
 に
 いま
 せらる





一月二日火晴風つぎ
 今日、三四年生の面會日です。午前中
 は、お書初をいたしました。いくいそも
 黒板に書、てあつた中から、今年の御
 勅題「社頭の
 寒梅」とい
 るのをえ
 して書
 きました。
 今日、今
 日は、面
 會の時
 間です。
 三四年生は、
 みんなお

社頭の
 寒梅の



腹がいっぱいになつたやうな顔をして
 ました。
 お書食の時、馬
 車と、きりかの
 使者が出
 ました。
 大へん
 おいし
 でした。
 午後の
 一時か
 ら、餘興
 がありま
 した。四まわ
 しやう曲藝に
 は、びつくりして
 いました。



イザンマ

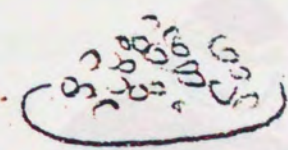
女の人、右手一つでたつて、兩足と日あげ
て、左手で血まわしをして、おました。又、前
頁の裏の紙を、頭の上にのせたりしま
した。又、落語や漫才み、いのもありまし
た。漫才は、とてもとても、とてもありまし
た。面白かったです。その後、又、その人が曲藝
をやりました。棒を口に、くわへて、
瀬戸物のドビンを、自由自在に、棒の
も動かし、たりしました。もう、もう、ひひ
や、しまひました。ドビンを、横にして、
棒のはじのはじの角まで、やつた時は、思
わう、キヤ、と、いつて、しまひました。
夜、又、百人一首を、したり、男、姓、女、姓、を
したりして、楽しく暮しました。男、姓、女、姓、を
女、姓、の時、には、ルンペンといふのが、出たり
いる、んなものが、出て、とても、面白
かったです。



今日は、五月三日
い、ろ、んな、物を、食べて、い、ろ、の、ぐ、つ、持、つ、て、
き、こ、下、さ、い、ま、し、た、
いた、だ、く、前、に、
先生、に、さ、し、
あ、げ、ま、し、
た、お、餅、
や、お、羊、
かん、カ、ス、
テ、ラ、サ、ヨ、
コ、レ、ト、
ミ、ル、シ、ト、
の、外、ろ、
い、ろ、私、の、大、
好、き、な、物、を、



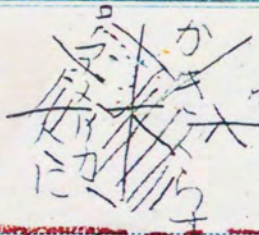
オイシイナ



持つて来て下さいました。暖かい日向でゆ
つくりとお話しなごうにたださしました。
お腹をこわさないうちに食べました。
なみん、甘かつたり、かつたり、とて
もとてもおいしかった。お昼御飯も、
お家のものをいただきました。
午後、先生方の餘きやうがありました。
今、齊藤先生の書あて、阿部先生の詩
吟、栗田先生の紙之居、若木先生のゆかき
やきふし、主事先生の曲げいみんなど、とて
とてもゆかいでした。
宿舎へかへつてから、愛國百人一首を
しました。二組にわかれてやりました。
先生が梨をいほ豆やらいろんな物を下
さしました。男姓女姓もやりました。
てんかん、なんて、ふの目でした。今
日は夜ふかしをしてしまいました。

藤田東洋

一月四日



朝御はんはお雑すめでした。暖くてと
てもおもしろいでした。午前中は、園舎内
外の大掃除をしました。一部六年は中
廊下をきれいにしました。きれいにした
ら、大へんきもちがよくなりました。晝
食は、ガス子が出ました。
午後、始業式があつた。後、日記をかい
たり、ろくろ、な、ことをしました。
夜は、愛國百人一首をしました。一番始
め、全部でやつて、その時、取つた枚数の
多い人と少ない人と分かれてやりまし
た。佐竹さん、由一度よみ、午になりました。
君が代は、
松の上葉におくつたの
つもりで、四方の
海となるまで



宿舎へがへつてからみんなで福袋の見せつこをしよた。

月六日

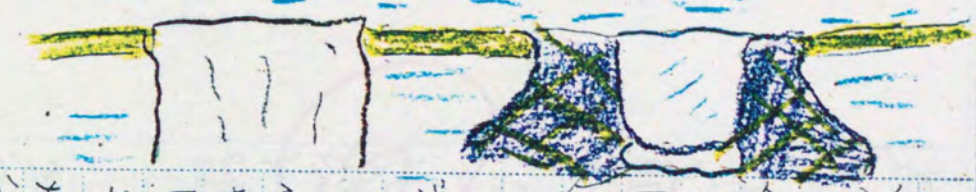
今日の食事は、富番です。私は御飯のお
手傳ひの日です。午前中は追羽根
大会がありました。私は賀屋さん
とやつて勝ちました。前を書いた。文
をつけて来ま
した。
午後おひき
つづきやり
まわす。ニ
回早は三
部の橋井
さんとわ
つて負けて



大詔奉戴日

とりに行きました。焼ちゅうのことを
 おとそといったりおさけことたりとてど
 面白かったです。

一月八日
 今日は大詔奉戴日です。奉讀式がすんだ
 後、支はけん軍
 の兵隊さん
 尉、問文を書き
 ました。昭和二
 十年最初の慰
 問文ですから
 心をこめて書
 きました。午後
 はお風呂へ入
 りました。今日は
 三部六年の女の
 次でした。少しけ



しまひました。六年女の優勝は、屋さん
 と「武安さん」でした。

一月七日
 今日三年の「面会日」です。午前中
 は、廊下をお掃除し、みましました。今
 日は、あつた。ガラス、いさをしました。
 午後は、村野さんのお家へ、フットンとリ
 こみに行きました。島の中を行って、
 すぐ、フットンをひつくり
 がへしました。そして
 三十分位休憩して、た
 ら、村野さんのおはあ
 さんが、栗を三つづつ
 下さいました。せくて
 大へんおいしい栗でし
 た。とりこんだ後、み
 かわ屋さんへ、焼酎を



むいてした。が、とてもよい。気持ちよく洗った。その後髪洗ひをしまし、洗はつな。かたつたので、大いん黒い汁が出ました。かせをひか、よいように、よくよくふきましました。

反省 この頃、自分で目よりよい子になつたかと思ひます。心をゆるさず、もつともつといふ子になるやうに。

一月九日

午後、敵報が発令されました。敵の編隊が来龍射したのです。壕の中へ待壁した。高射砲をうつてる音もさうとう聞こえましました。見壕の中から見てたり、東のち、へんちくりんな物が二つ、ふわつふわつと落ちて来ました。そのしてそれが、太陽に反射して、ぴかぴかきらりきらりと光つておりました。

三つほど……一た、何なのでせうか。又敵機のつおらくするの、も見えましました。解除になつてからは、編物羽根つき、日記などを書きました。

一月十日

朝、小平郵便局の所へ、昨日の敵機の被害を見に行きました。何だかとても、とて、いや、な、に、ほ、が、しました。翼、み、たいな所には、英語がべらべらといっぱい書いてありました。

午前中は自由でしたので、あみ物をして、おたから成績通知書を下しました。一つあがうて一つ下つておりました。三学期には下ることのないやうに、うんとかんはります。その後、三四人かたまつて、お餅つきの繪をかきました。私は、西村さんと高さんとで、こねてる所を書きました。

大 人 ち 黄

一月十一日 直書し 日 二 子 日 ち

した。この繪山本先生にさしあげるのです。
裏にはお手紙をかきました。

一月十一日

朝食後、お風呂の水汲みをしました。ア
うエオの後の組の人です。又俵に落
葉を集めました。そして、じゆ
んばんに、お風呂点
を入れました。そ
午後、その私
たちのいた
お風呂へ入り
ました。今日
は丁度いい
湯かげんで
した。



黄ちん 又

一月十二日

午前中、東村山の方へ薪を取りに行き
ました。この前行った所より一寸近
した。今日は朝からとても風が強く、砂
ぼりが見え、もうと立って困りました。薪
は五六本づ
つ運びまし

た。先生が

なわで

しつかり

と背中

にゆあ

へつけて

下さい

ました

重いで

したかん



リ
ン
ゴ

リンゴ

リンゴ

リンゴ

リンゴ



はつてぐんばつてやりぬきました。途中で
二度休けました。
一、二、三年は列をきちんと整然としてるが
と阿部先生がほめて下さいます。又
「それはなれど、堀じやない西川。重さうだ
な。重いたろ。かんはれよ。澤山持てるな
とく、いひれてふたふたにスリヤうな
所に元氣をつけて下さつたので、とても
とても嬉しかったです。
ほ、こりぐ目のすこかつたので、ついてか
ら洗面をしました。先生方が
「黄ちん万又だな」
といつていらつた。授業も食事の中です
ごい風でした。授業も食事の中です
ま、おやつにはまつ赤のおりんごがありまし
た。とてもおいしかったです。

一月十一日

お風呂へ

朝、飯の前、ア、ウ、エ、オの後の人、たき
物、運、びをしました。朝飯後はひさうづ
き、水汲みをしました。いさ、方からし
ゆん、しゆんに、を、け、さ、か、つ、て、水、を、汲、み、に
行きました。私は、西村さんと一しよに行
きました。重くて、肩にめりこみさう
なりました。一生けんめいやりました。一
時間めも
やりました。
由良さん
からいゆ
ん、ぶんに
たきまし
た。福場
さんまで
でわしま



地理の時間は、たき火あたり時間でした。午後お風呂へ入りました。自分の方ちのわがしたお風呂よとても気持ちいいでした。今日一日は大へんうすり寒いでした。

一月十三日

今日は何だかとても寒いでした。

一時間めのお裁縫の時間は、きづつめたがつたので、お裁縫の時間にはあつてから始めました。今日はひもくけをしました。一本と一寸くけられました。良上のお裁縫を、三学期にはき水いにもつて優にするつもりです。

午後山口先生がお歸りになりました。失敗しないやうに。

一月十四日

今日は四年の面會日です。朝會後すぐ洗面器やいろんな物のおいてある所の整理をしました。その後、木の葉集をしました。澤山ある所をよつて、佐竹さんと一しよに集めました。一時間位でやめました。そして、その後は皆でお洗濯をしました。し終つて、そろそろ仕事をはじめて、是松さんぐいらつしやいました。その後はお風呂へ入りました。今日から一部六年は十八名になりました。

一月十五日

一部六年總員十八名集合をわりました。昨日の夜から、何だか頭が痛くて胸氣持が悪く、足がふらふらし、寒くて、御飯が、ちつとも食べなくなかったので、一寸だけ

食

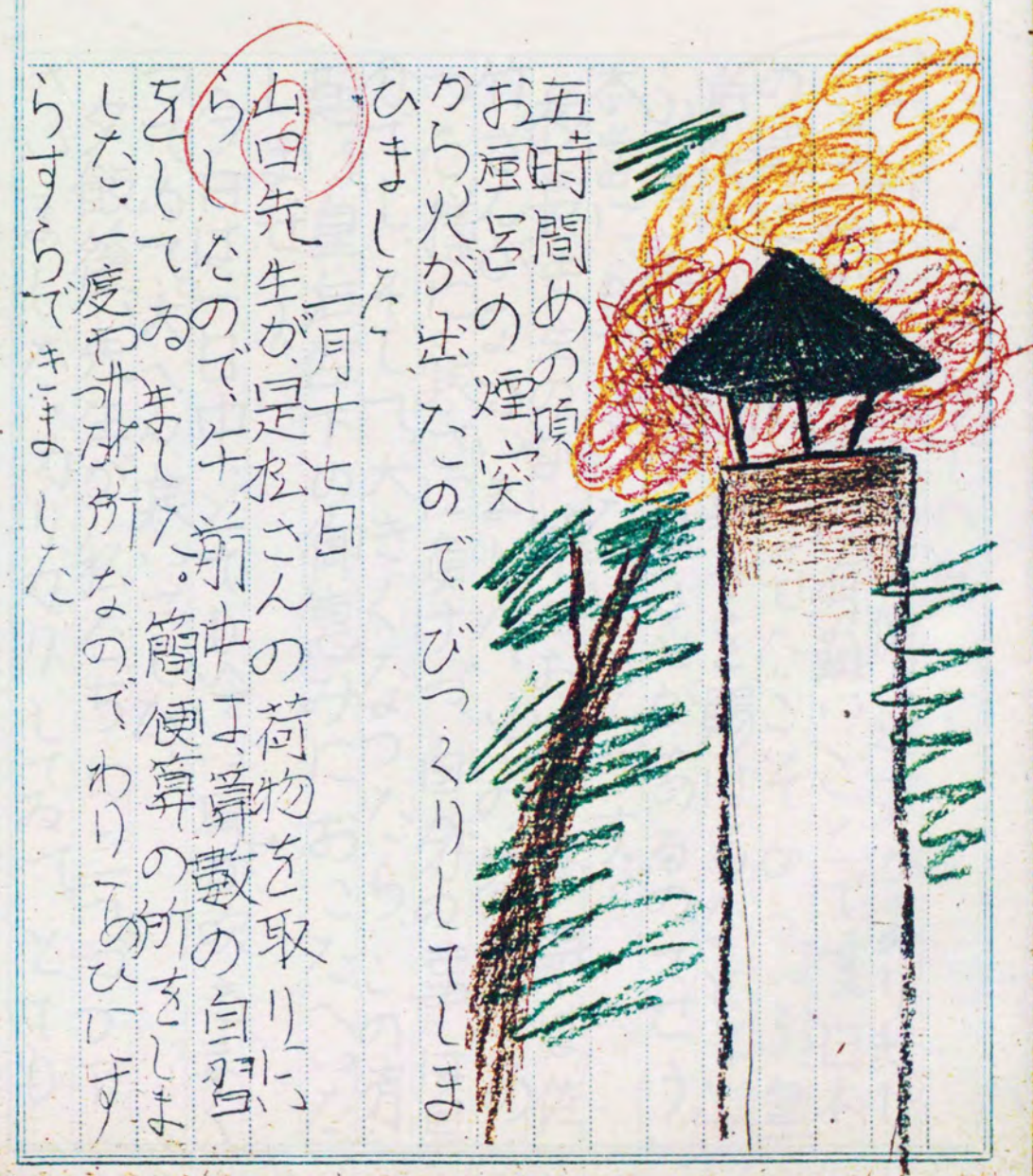
$$27.8 + \boxed{3.7} = 31.5$$

食べて置きましました。そして立つてると
 てもつらかったです。が坐つてると楽で休
 動がすの目やでいた。ので朝御飯ひか
 へておきました。が午前中になほつて
 まひました。
 午後から体魚測定
 に行きました。
 何キロふ
 えんか
 忘れま
 したか
 三十一
 五キロ
 になり
 ました。
 来た時は
 ニ十七八だ

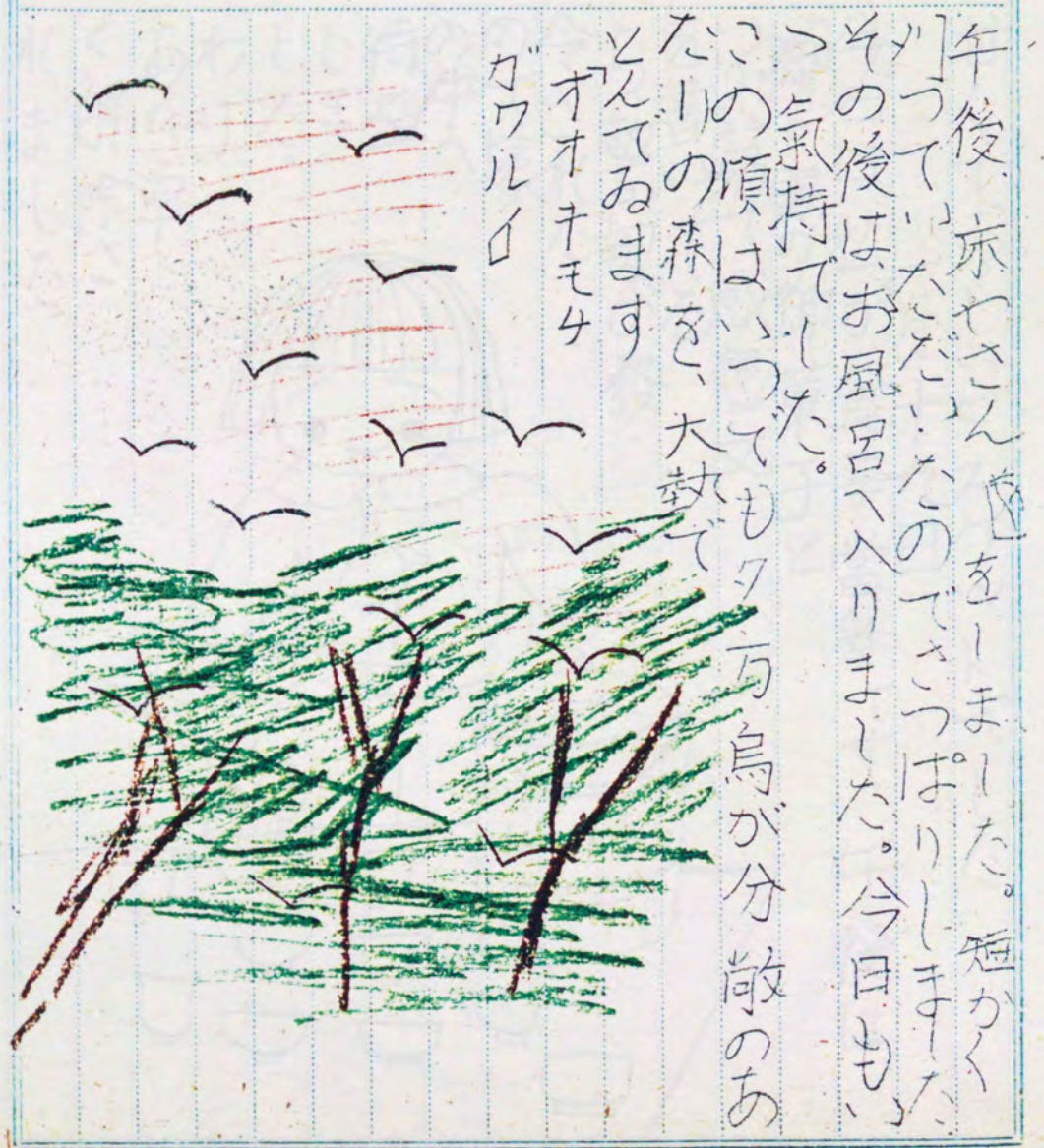


つたのに約三七キロふえました。約五月
 たつた間にずぬん小んたものです
 お書御飯の時にはおいしいおいら
 が出ました。
 タ方みそれみないなものがぼろぼろ
 とふりましました。
 晩御飯はお肉御飯でした。

工作の時間、散機が来襲し急に高
 射砲を撃ち出したので急いで待壁し
 ました。一寸したらすぐ大丈夫にな
 ったので出て来てすぐ授業を始め
 ました。
 晝食にはふりかけがありました。下
 黙の配給がありました。が私はあなり
 ませんでした。藝務の配給は突撃
 ゲームがあたりました。



五時間めの頃
お煙草の煙突
から火が出たので、びつくりしてしま
ひました。
一月十七日
山口先生が足松さんの荷物を取りに
いらしたので、午前中は算数の自習
をして、午後、簡便算の所をしま
した。一度やつた所なのでわりとひいず
らすらできましました。



午後、床やこんをしました。短かく
ついでに、たいたいので、うぱりしました。
その後はお風呂へ入りました。今日もい
つ気持でした。
この頃は、いつてもタカ鳥が分散のあ
たりの森を、大勢で
とんでゐます
オオネモク
ガワルイ

一月十八日
午前中は、お菓子の傳達式がありました。
本當に本當に有難いことです。日本
の國に生まれ合はせなかつた、かういふ皇
后陛下から、御菓子を賜はるなどとい
ふ有難い光榮なことがあるのでせう。
本當にもつたないことです。
校長先生の訓辭のお答の答辭は、佐
竹さんがなさいました。その答辭にあ
つた様に、寒さに負けず、自分の事は自
分でし、そして大きくなつたら、この有
難い皇后陛下の御恵みにおこたへいた
しませう。
今日は一日中、とても冷い風が吹きまく
つてゐて、大へん寒かったです。
夕飯後、先生が私たちに三つづつ下
さいました。カリカリしてゐてとても

甘くておいしいビスケットでした。

一月十九日

今日は私が食事當番です。午後は
御下賜の御菓子と

感想文

を
書
て
ら
敬
言
報
が
發

令へれた

の
で
境

待の壁

し
ま

た

木
り

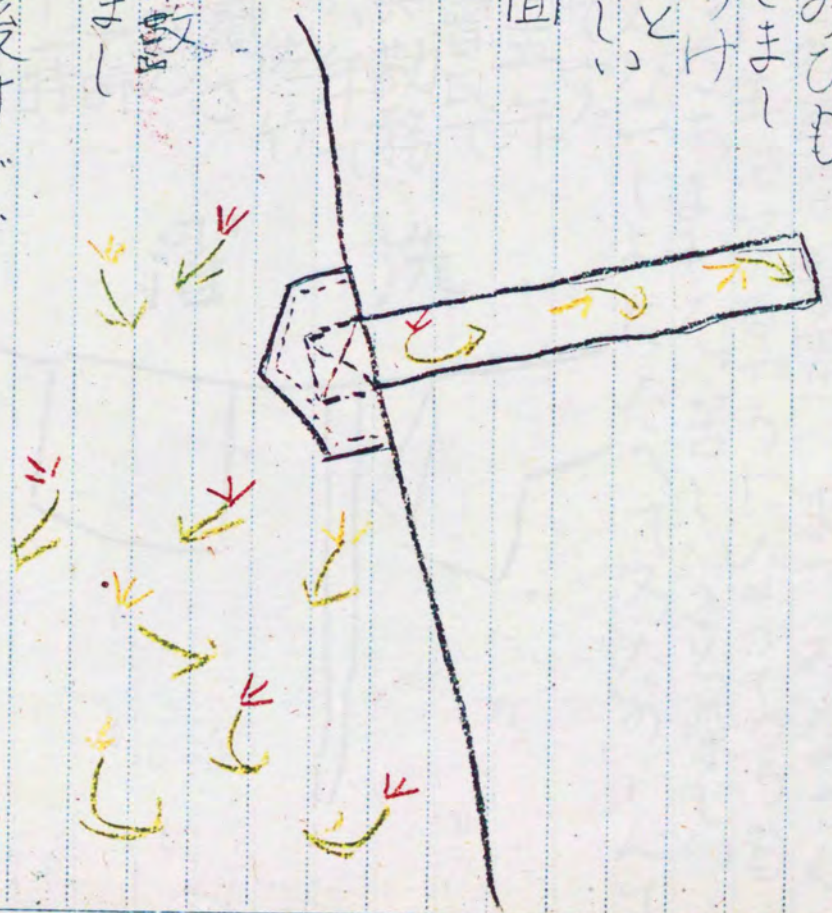
あひ

く
解

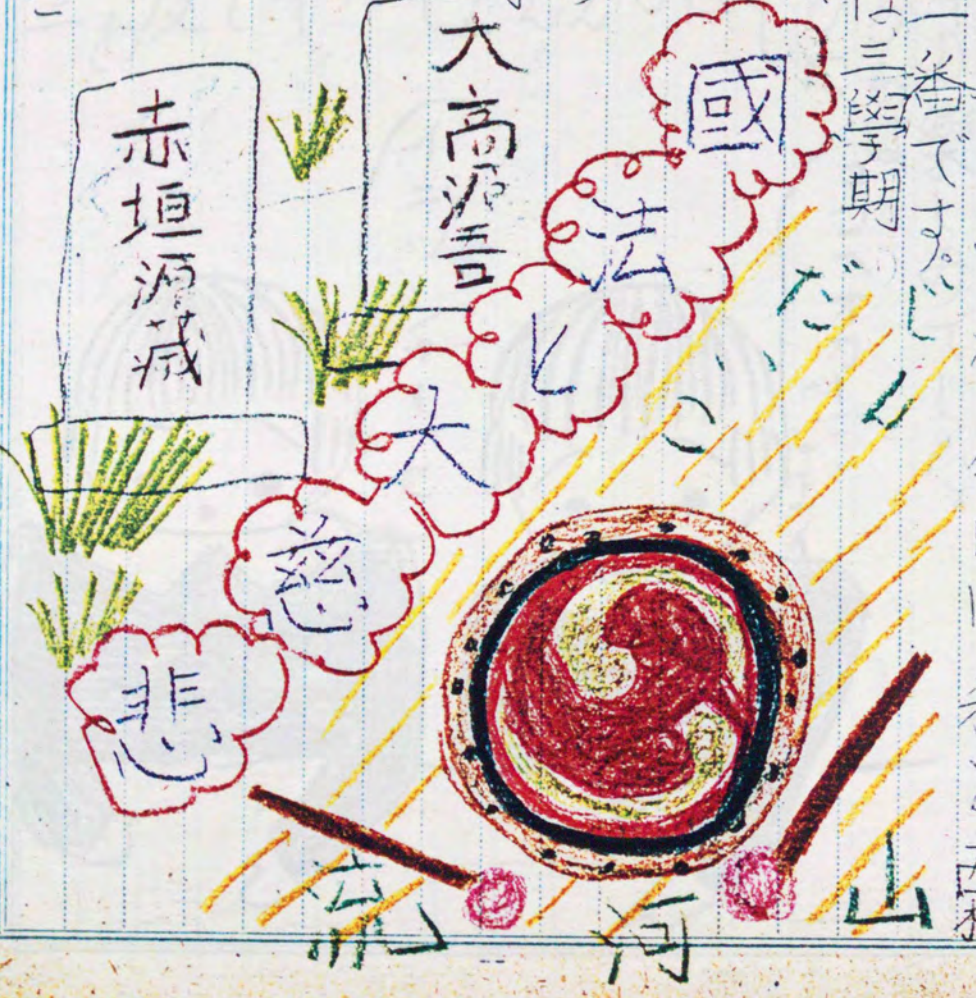
水
ま



一月二十日
裁縫は二時間續いてやりました。今
日は後のひも
つぎをしまし
こひもつけ
はちよつと
ややつと
ですが面
白でし
た。
三時
間め
の算
数は
カイ
数を
やりまし
た。
晝食後すぐ



お風呂へ入りました。今日は私と西村
さんとが一番です。じ
国語は三学期
始めて
す。国法
と大慈
悲でし
た。その
後は木
の葉集
めをし
ました。
御下
賜のお
菓子を
二つづつ
いただきました。



八月廿二日

ました。本當にもつた、ふいふことです。

二月二十一日

九月廿二日

今日は、この疎開等、一へ来て、みなさん

十月廿二日

う、五月、たちました。苦しいと楽しい

十一月廿二日

生の面會日て

洗

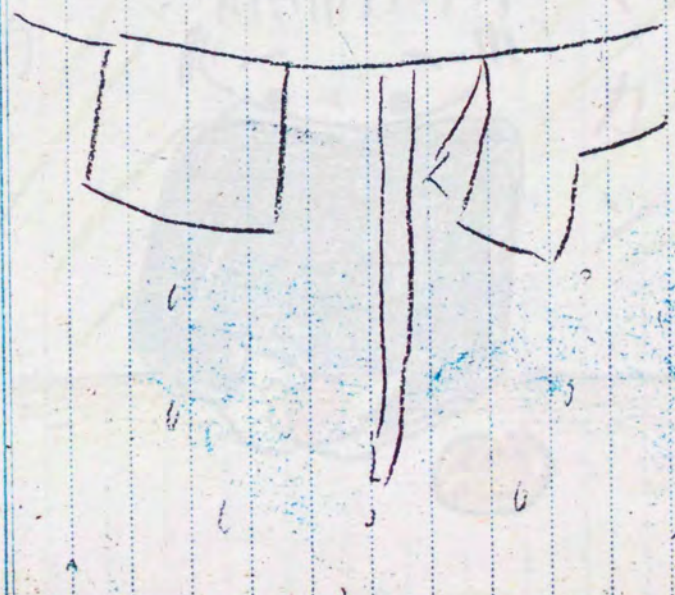
十二月廿二日

は一部、六年て

濯

一月二十一日

す。私は、佐竹



した。いろんな父兄の方がいらつしやる

午後からは

新運びに

ココへオカ

た。私は

岡安さん

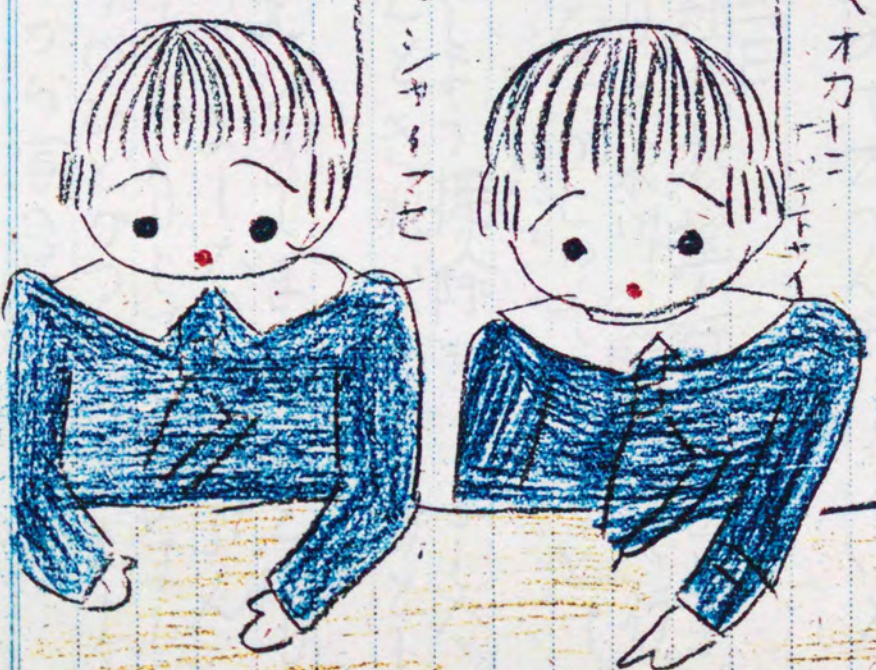
青木さん

井元さん

と五人て

りやカー

イニツシヤ



度めは、十三四五わつんで歸つて來ました。
 車が穴へ入つて大困りして、全力をや出
 して、やつとひっぱり出しま
 した。一度めはさうで
 もありませんでした。
 たが二度めは、
 肩がぬけさ
 うに重いつて
 いたがが
 んばつてか
 んばつてや
 りぬきま
 いた。なん
 が部隊はと
 てとても重
 さうだったの、薪
 をおいてから急いで手



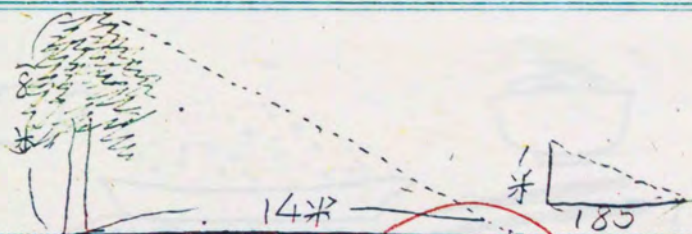
傳ひに行きました。

おやつ、ミカン、夕飯は、とてもとてもお
 なかなかすいて、**カン**、ので大へんおいしくいた
 だけました。

一月二十二日

今日は、八坂神社へ参拜、行軍をしま
 した。そのかへり、久米川の驛の方へ行
 きました。大へんなつかしいでした。とて
 もほこりがすごいでした。
 午後は、ごぶじよう掃除をしました。
 馬力をかけてうんときれいにしようとし
 ました。

その後は、髪洗ひをしました。とても
 くさっぱしりました。すねぶん
 黒い汁が出たのでびつくりしてしまひまし
 た。今日は、ほこりがひどかつたので、よく
 ほこりをはたいてから家へ上りました。



反省

誰かがたとへば、サインだといつても、何かの間違ひのことがあるから、自分ではつきりたしかめてから用意をしよう。人の一言をすつかりのみこんで、馬鹿みたりしないやうに

一月二十三日

四年前の今月今日、岩間昌子さんが御病氣でおなくなりになつた日です。本當に短命でおかわいさうです。

一時間めアイウエオの前半分の人はお風呂たきをし、後の人は理科のお授業をいたしました。一学期相以形で習つたやうにして、木の高さなどを計りました。

三時間めはお風呂へ入りました。今日は食事當番なので着がへを早くやりまし

今日は一日とても寒かったです。

夜御飯の時お魚が出ました

三学期の計画

(1) あんまりはらぬこと

(2) 日記をためない

(3) 苦しいやな作業でも進んでやろう

(4) あんまり負ける気おこさない

(5) 物は大切に使う

(6) 自分勝手なふるまひはよくない

(7) 勉強は怠らない。きらいな科目も好きにし

よう。後で好きになつたらみる

好きな科目

③算数の習字

②國語の理科

①國史の音楽

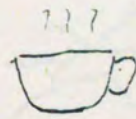
④地理の普通

⑤工作の体操

⑥裁縫の修身

⑦図画

(早止道)



一月二十四日
 体操は松の木を陸にしていってか、せんをしま
 した。とりこを三人作って私は一ばんもい
 りこになりませんでした。赤が勝ちました。
 午前中は照つておたのに午後になま
 つたらかげつてしまつたので、何だかとても
 うすらい寒がてした。
 お昼御飯はかうりやんの入つてゐる御飯
 でした。少し色がついてゐる御飯でおいし
 いでした。
 修身の時間は日記を書きました。
 夕飯はライスカレーでした。
 一月二十五日
 朝御飯後すぐりく手さげを持って
 東京の御学校へ行きましました。久しぶりに
 電車に乗つたので、みんながおそろし
 いみたいな気がしました。

車窓から焼夷弾

が落下して

焼けたと

く見え

ました。

づるふ

んもの

すとい

ところ

もあり

ました。

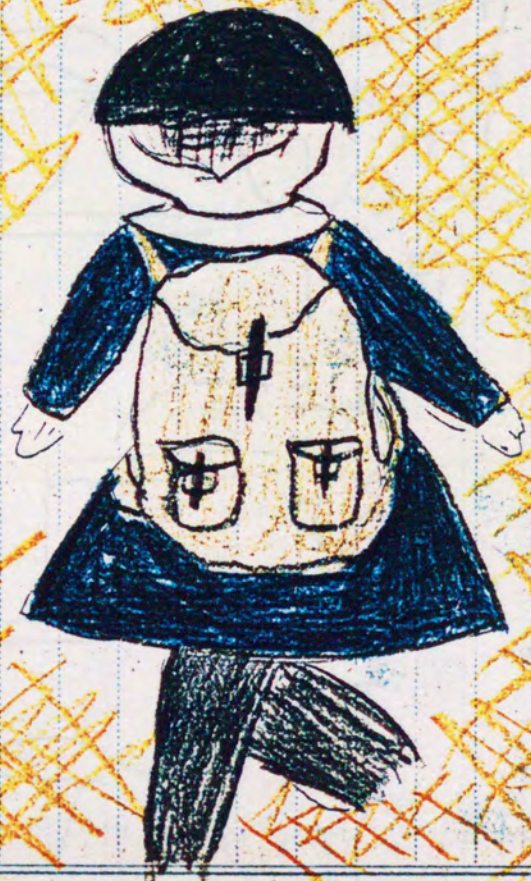
御学校へ行つ

ておミカンをり

ユツクへつめてかへ

つて来ました。おやつにこのおミカンが

ニつづつ出ました。





一月二十六日

体操の時間は投ひきうをしました。ほ、
りつほかつたので水をまいてからやりま
した。

音楽は福田先生がいらつしやうなかつ
たので國語はそれで見習をしました。
名ほじゆんに日記を見ていたなきました
日記はためないやうに、くう短かくても
いから、お書きなさいと御注意があり
ました。私はもうこれからは、昨日の日
記を書くななんてなやうにしません。
今日は一日中日が照つてゐて、大やう暖か
でした。

この頃は報道の時は、くう楽しく遊ん
でゐても、ちやんと聞くことにしました。
本の戦争の様子位は知らなくは、
書き忘れましたが、女高師の校長先生

が、この度女子學習院の院長とおなりに
なるのださうです。昨夜のモ時、ラデオの
報道で知りました。

一月二十七日

午前中は棚の大整理をしました。
全部物を出してしまつて

きちんとして

して棚

の各組

にきち

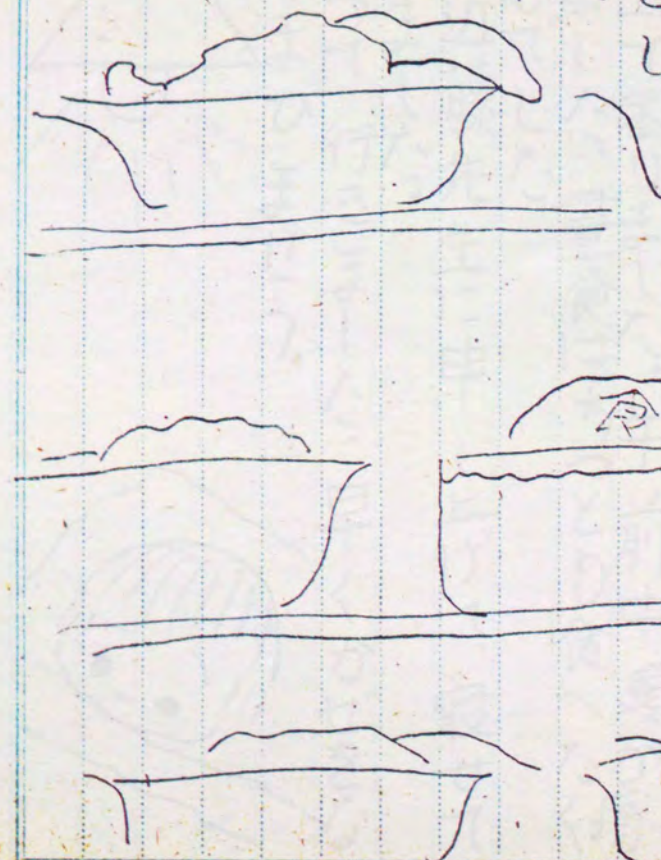
けんま

つ、一

六、七

五、六

段、で



今日(一月二十八日)は私達の面會日です。午前中二度も敬言親が發令されましたが、二度とも一機なつたのでひきつづいて面會をしました。今日は持つて歸つていたたく荷物ほとても多くていたが持つて来ていたたく荷物は太

一月二十九日

朝セキが出て困りました。午前中頭が痛
くて困りました。晝食はちつとも食べたく
ありませんでした。
とうとう近藤先生に申し上げて、寝せて
いただきました。
今日は止つて行きました。早くかせきな
ほしてしまひませう。



一月三十日

保坂さんの

西川さんおきるのよ

といふ声で目がさめました。あ、今日はとま
つていたのだと気がつきました。急いで着
かへきし、雨戸をあけお掃除をしました。

作業の時

間に風邪

をひいて

ない人よ

髪洗ひ

をしま

した。

私は

風邪を

ひいてお

るので、



洗ふのをやめました。今日は近藤先生が
歸つてよろしいとおつたので、歸りま
した。セーターがやつとゴムあみがあみを
わりました。
米軍はマリピンのリング沿山岸から上陸し
てマニラへ進んでをります。

一月三十一日

今日は、今月の最後の日で

算数の時間は地球をお習ひしました。

半経一六三七のキロメートル。

赤道一週、約四万キロメートル。

私たちの足で、百四十七日

又、直経二十センチの地球儀には一番高い、

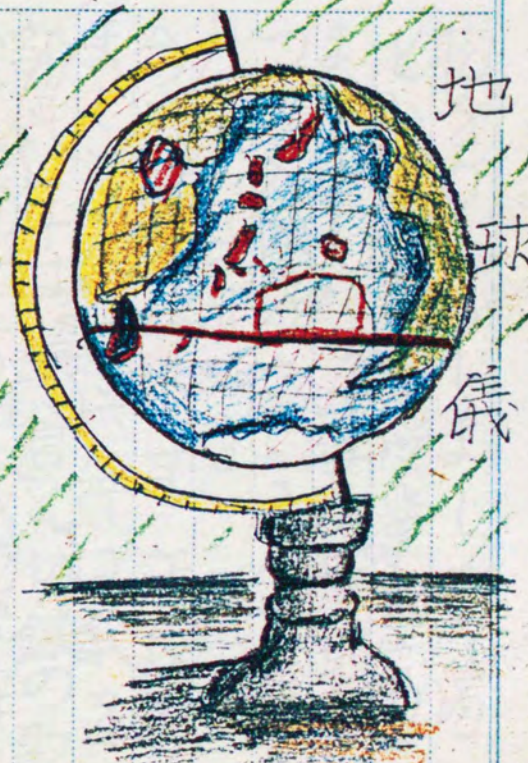
エレベスト山も〇〇四センチ、一番深いエムデン

海淵も〇〇二センチの幅なものです。

かういふ地球とか四季とか、よくみとが、いふも

のは、大好きです。

地球儀



反省

お友達を、好きだきらひだといはないやうに

夕方、大谷さんと、野寺さんがいらつしやいました。

二月一日

地理は垣根の所でやりました。インド支那をお勉強しました。

晝食後、お風呂でいたが、私は風邪をひいたので、入るのをやめました。お席で編物をしていたら、橋本さんと山本さんと杉原さんがいらつしやいました。杉原さんは、とても言葉が面白くなつていらつしやいました。一寸したなら有松さんがいらつしやいました。隆雄ちゃん目いらつしやいました。又一寸したなら木谷さんがいらつしやいました。一部六年は、総員二十五名です。

二月二日

雪と目がさめました。屋根の上に落ちる雪の音がします。寮舎から出た時、まだまだ降りつづいておました。又、林やふの所が、両方から竹がおほひかぶさつて、おて大へんでした。傘でかきわけて歩いて行きました。朝食後、火鉢でぬれた

物をかわかししました。湯気がぽつぽつと出ました。授業は第二時間めから始まりました。雪は午前中に止んでしまつて、太陽がさしこんで来ました。

二月三日

今日は節分です。午後演藝会があり、私達六年は歌をやりました。第一部は鎌倉と鎌倉の歌を歌ひました。堀先生の『蔵物語』は大へん面白かったです。片山先生の『馬鹿な息子』のお話はどうもとてもゆかでした。その後、豆まきをしました。それから、豆を年の倍づつした。たきましました。するめもいた。たきましました。久しぶりなので、とてもとてもおいしかったです。夕食は、ライスカレーでした。

二月四日

午前中は木の葉集めと清掃作業で、お風呂は私は高瀬さんと西村さんとでお風呂をたきましておました。代りばんつにたきましました。ほつてしまつて、ホシペタがまつ赤になりました。

午後はその私達のたいたお風呂へ入り

しました。始めての方もすいすいつんわらいました。



反省

お風呂をたく時あまりとんとくべると
火が外へ出てさわきをおこすから注意す。

二月五日

今日から三日間私が班長です。責任を思つ
てしつかりとやらうと思ひます。

六時間め、村野さんへ薪を運びに行
きました。ついで、二はを五人づつで公
平にわけました。私は西村さん・井え
さん・木谷さん・有松さんとでわけまし
た。村野さんの祖母さんがきちんとお
中のはがりんたうが出ました。お

五
五
長

春

二月六日

夜中、ふつと目がさめました。そうした
ら、左の耳がぶさくくと痛みました。
ちいふ時計が一つうちまします。私は何
だか悲しくなつて泣きなくなつてしま
ひました。さつきのチームは十時半なつ
たのでせう。十一時がなり十二時一時かな
りました。とうとうなまらなくなつ
たので先生に申しあげたら水でふして
下さしました。山口先生にずるお
せをおかけしてしまつて……本當
に本當に有難う。電車に乗りつて、朝は
西村さんといよいよ一日中寝てゐて、御飯
も皆さんにはこんでいた。だくことに
ました。

午後療養所へ行きまして、

二月七日

ねむかつたので一日うとうとと寝てゐました。福本さんがいらつしやいました。小林さん昨日いらつしやいましたが、目がおわるのでお通ひなさうです。

二月八日

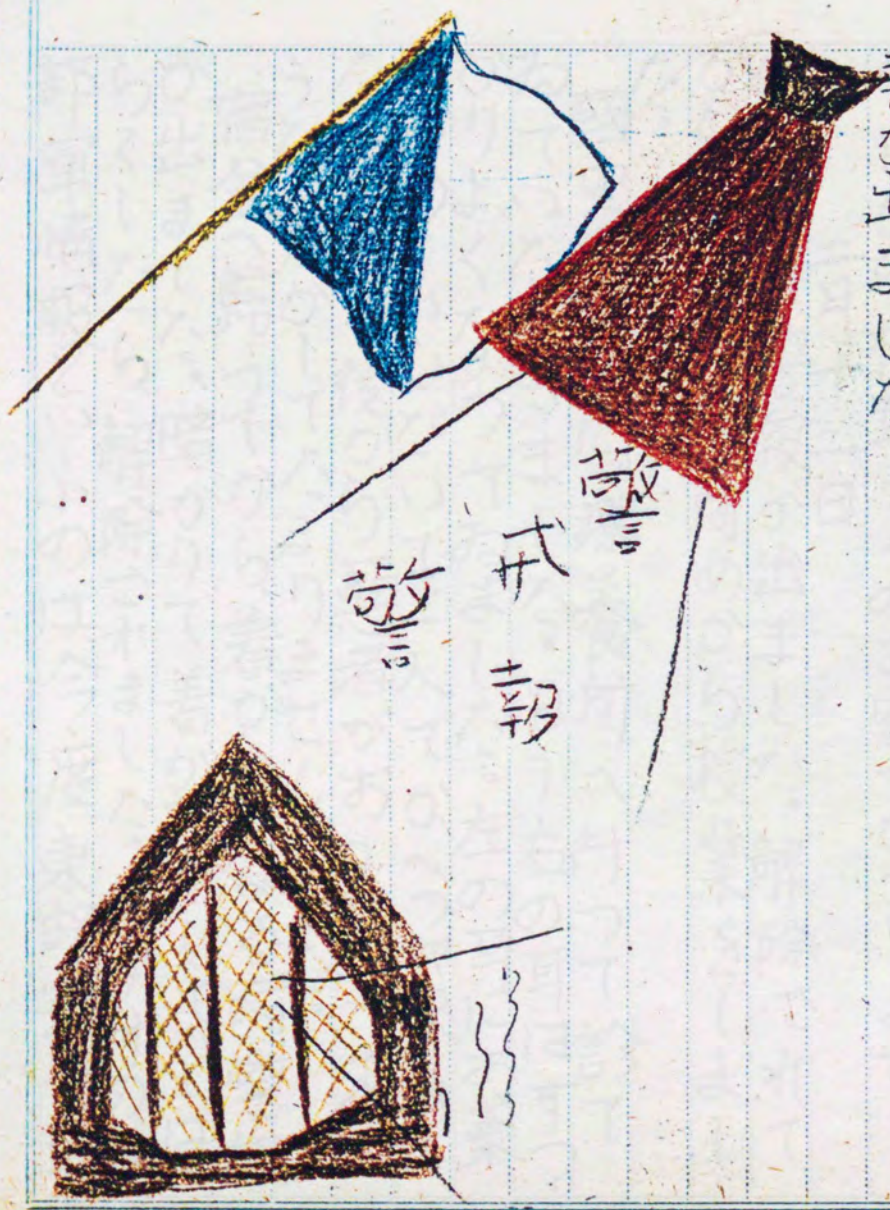
今日は大分さつぱりしました。もうそんなにねむくなくなりました。

二月九日

もうたまにしり痛みません。日記でも書きなかつたのです。すが持つてゐなかつたし、それには書いていけなかつたのでない。くつていへ。

二月十日

お晝頃起きてもういふお許しが出来たので、とても好いのでした。さう早く起きて、晝食は、ちりて食べました。今まで



皆さんにすみばん御心配をおかけしてまつたなあ。皆さん有難う。敬言サ敬言
報か出ました。

敬言
式
報
敬言

り

二月十一日

今日は紀え

節です。大東

亞戦争始まつ

てから。今度

で四回めにな

ります。九時半

から、拜賀式

がありました。

今日は四年の

面會日です。

衛兵は一ノ六でし

ウエオの前から

二人づつ三十

分交代でモ

りました。

朝飯後御賜のお菓子

を二つづついた

だきました。

衛兵は杉原さんまで

ておしまひになつ

てしまひました。

二月六日の系

ヨシタノオ耳デシヨ



ヨシタノオ耳デシヨ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

午後お風呂でした

が私は入りません

で、その後はお洗濯

をしました。

今日から村野さん

のお家へかへります。

二月十二日

体操の時警報が出

ました。解除され

てから、三時間め

から授業をしまし

た。

國史の時間に、療

養所へ行つて診

みていただきました。

もう右の耳はすつ

かりよくたつてお

ました。左の耳にお

薬をつめていた

で、一人でかへつ

て来ましたが、何

だか後から一患

者がおつかけて

来さうな気がして

なまりませんでした。

宿舎へ帰つてか

ら、着かへになる

時、警報が出

ました。暗がり

で着かへをして

し、しばらく

くしたから、解

除されました。

二ラゲオの東

部軍情報とい

ふのは、今度

東部軍管区

部軍情報とい

ふのは、今度

No. 病報となりました。

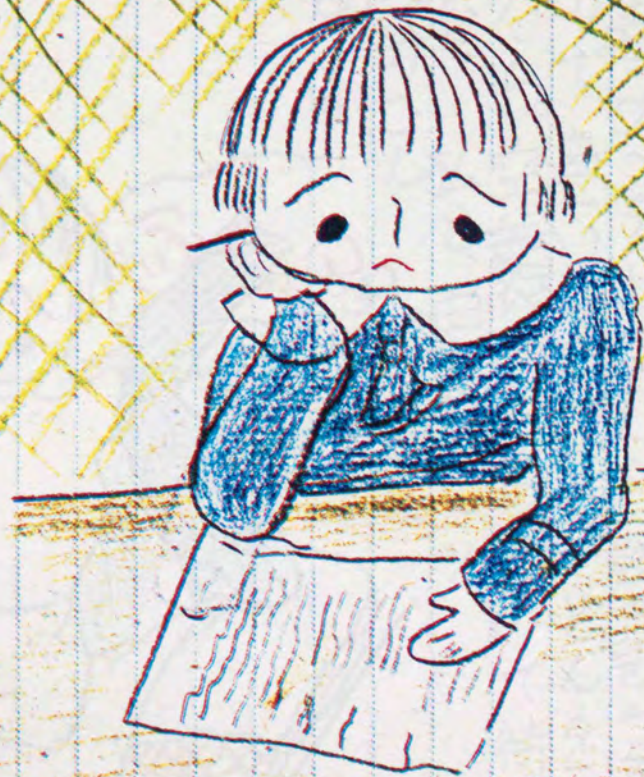
二月十三日

今日は可がかうすら寒い一日でした。
算数は、暦をやりました。私は、いろいろ
特なののは大好きです。お裁縫は、ポケッ
トつづをしました。五時間め、国語は、自
習なので、お裁縫をつづけてやりました。
袖をつける所まで出きました。山口先
生と、古川さんと、三雲さんと、白井さんと
杉原さんが、お魚の配給をとりながら、
つしやいました。書きを忘れましたが、
昼食後、布川さんが、いらつしやいまし
た。セーターは、今度胸の所をあみま
す。

二月十四日

朝からとても寒かったです。今日は村野
組が、びりになつてしまひました。

試験の国史



一時間め、名ほの十番まで、の人が、お風呂
へまをしました。時間の途中、警報が
出ましたので、待避しました。場の中、國
史の勉強をしました。

四時間め、國史の試験がありました。
わからなものがありませんが、考へたらわ
かりました。五箇條の御誓文がどうしても
思ひ出せませんでした。

二月十五日

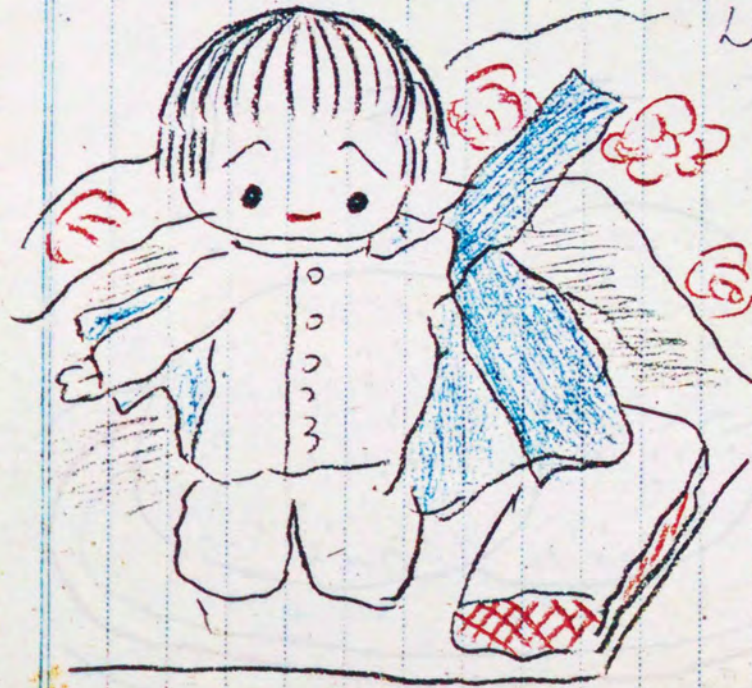
今日は、シंगाボールのわんらく四周年で
す。午前中は授業で午後一時授業
をしてから、体重測定に行かうと、園舎の
前へ整列したら、警報がさされたので、
急いで待避しました。田中さんの家にと
まっておいた方が、村野さんの所へ、らつ
しやいました。田中さんの家にお嫁さんが
いらつ、やつたのださうです。

シंगाボール

二月十六日

起床して着がへをしてたら、敬告が来
たので、急いでやつて、ふとんをた
たみかけたら、空襲になつたので待
避しました。私と由良さんと
高さんと佐竹さん
は、家からあふれ
てしまつた。

まじな
敵の機
戦機が
来襲し
たので
です。



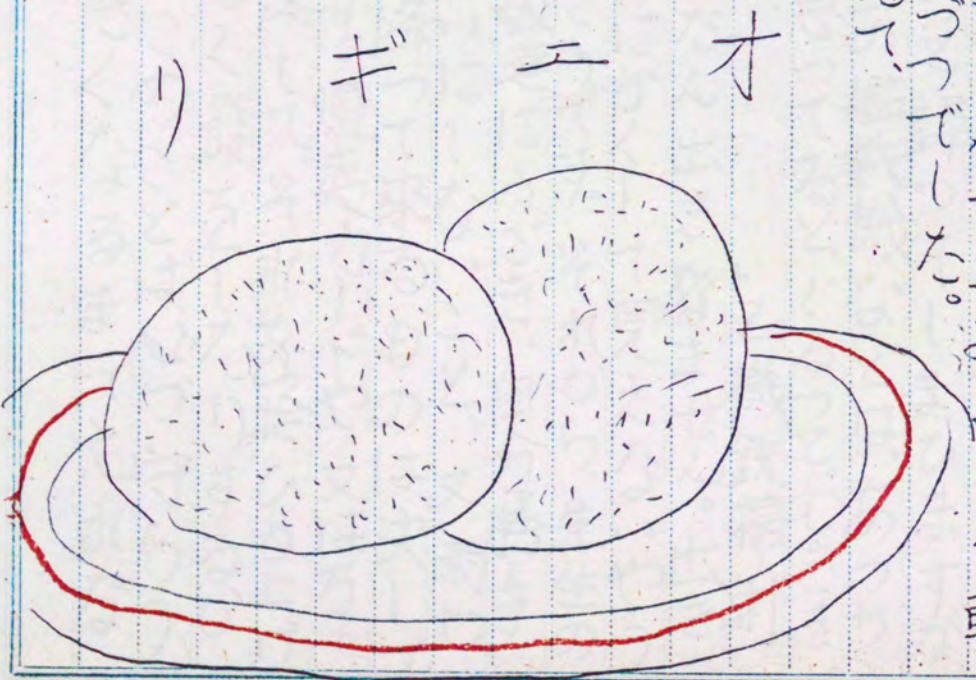
敵の航空母艦が日本近海へ来てさ
かんにくろついでゐるのでせう。次々に来
襲しました。艦載機といふものは機
銃掃射をします。危い。大急ぎ
で洗面を洗い、御飯をたべてた。又來襲
したのでまた待望しなりました。かれこれ
もうお昼時でーした。
今日は二回食をしたが、おやつにお豆が
出ました。

夜の報道で聞いたのですが、今日は約
二十機位來襲したのださうです。

二月十七日

又七時頃警報が發令されました。ので急ぎ
仕度をして學園へ急ぎ足で向かひました。
途中、高射砲がなり出したので、びつ
りしてしまひ、學園へついて荷物はそこへ

おいで、すぐ壕の中へ飛び込みました。朝
食はおにぎり二つづつでした。
お塩が一寸ついてゐて、
大へんおいしんで
した。今日も艦
載機の來襲
で、食糧の廻り
で食べまし
た。午後
二時、空
中戦をし
ました。急
行下の音
高射砲の
音、機銃



掃射の音などが入りまじつてものすごく聞こえました。

夕方警報も解除されたので、家の廻りへ机と椅子を持ち出して食べました。報道の時敵に與へた損害は百四十七機、我方の尊い木歸んは六十一機でした。

二月十八日

今日は五年生の面會日です。衛兵は一部六年でした。私は西村さんと布川さんと三人でやりました。私が面會人です。先生に報告にいつたら、先生が自分ではなさいとおつしやつたので、大きな聲でよびました。何だかとても取っ付いた。午前中は、日記を書きました。

書き忘れましたが、朝會の時岩丸先生のお話がありました。今度の空襲は、今までの空襲のやうに、生やさしいもの

のではありません。B29なら、ぶーつと着て爆撃して、ぶーつと歸つてしまひますが、今度のやうに小型の艦載機などはあつちへ行くらうと思つてると、ぐるつとむきをかへて、ダツダツと機銃掃射をされるから、油なん出きやしません。出きるだけ身を物かげにかくして見えないうやうにするといふのださうです。それから先生の命令は、通りに敏速にうごき、自分勝手な行動はせつたにしないこと。又雨や雪の外は、空から降つて来るものは決して拾はないことです。焼夷カードや、又は万年筆や人形を落して、それを拾ひか上げたとなんにかはく發をしたりするから、ださうです。このへとは、いづ守らうと思ひます。大きくなると、忘れないうやうに

午後は國語の勉強をいたしました。介錯といふ字が、なみなかおぼえられませんでした。

夕食には、お芋の天ぷらが出ました。とてもおいしかったです。

二月十九日

今日は、床屋さんが来ました。一部六年は、一番始めです。御飯前から始めました。私は一度、御飯の最中になつてしまひました。今日で床屋さんのも最後だ、うです。すんでから、急いで御飯をたべて、食器を洗つたら、朝會になつてしまひました。

青天井の床屋さん

図画の時間は、黒で高瀬さんを、寫生しました。ものすごくぶに書きまして、



した。

四時間め、お風呂へ入りました。今日は廊下で着がへしました。私は十五日もお風呂へ入らなかつたのでうんと奇麗に洗はふと、ごしごしとこすりしました。

國史の時間、一寸したなら、敬報が發令されました。B29の大編隊が來襲したのです。待望してゐたら、B29の爆音がよく聞こえました。夜御飯の一寸前に解除になりました。宿舎へ歸つてから、報道で聞いたのです。今日來襲したB29は、約九〇編隊九十機だつたさうです。

二月二十日

私が朝當番。ごふじようをお掃除するのです。奇麗に床をふき終つたら、ばブーッとサイレンが鳴り出しました。敵のたのめ、急いで後片づけをしました。敵の

軌道部隊が日本本土へ近設しつつあるのです。こちらの寮舎の方が机や椅子をいれと、下さつたので大助かりでした。朝食は、部屋の中ですましました。御飯がすんだ頃、解除になつたので、ほつとしました。

一時間めは、算數の試験がありました。三時間めは、療養所へ体重測定に行きました。一度もお腹をこわさなかつたのに、病氣をしたからでせう。体重がへつてしまいました。

國語の試験がありました。菊水の流れは全然お習ひしなかつたので、一番のイはめ、ちやくちやくになつてしまいました。お晝食には、こんぶの佃煮が出ました。

二月二十一日

疎開して来てから、今日でもう六ヶ月たつてしまひました。ふりがへつて見ると本當に月日のたつたのは早いものです。最初には家へ歸りたくつてよく悲しいものですが、今はもうすっかり疎開生活にもなれてちつとも歸りたことも思ひません。楽しかつた事、嬉しかつたこと、悲しかつたこと、つらかつた事、苦しかつたこと、まるで走馬燈の如くにぐるぐると、いろんな事が思ひ出されます。

午前中は東村山の方へ新とりに行き、また、場所が代つたので午後から薪やせんがむりへに求て下さるさうなので、引つかへて来ました。

午後音楽の試験がありました。二部六年と一とよにやりました。御歌を

名ばの反對順に歌ひました。
その後髪を洗

ひをしま

した。今

日洗

つな

人は

たつ

たの

人の

きり

でし

た

ので

ゆす

ぎも

お湯で

やり

まし

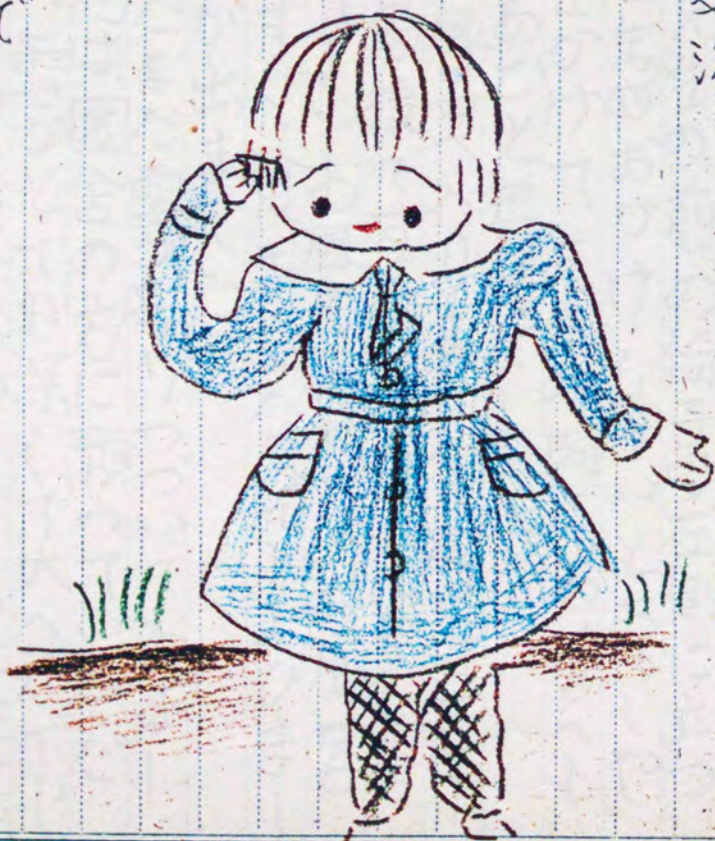
た。

おやつ

には

ミカン

のかんづめ



か出ました。とてもおいしく、薪やさんが来たので、案内されて薪を

取りに行きました。わりあひと軽いでし
た。

二月二十二日

今日は、青少年學徒に賜りたる勅語記
念日です。

朝から雪がさらさらと降つてゐました。
今日の生活は室内です。國語はライを進
むをやりました。お習字は、
邦民われ生けるし

るしあり、天地の

榮ゆる時にあへり

くおもへば

といふのを、お清書しました。今度こそ、
優になりたいと思つて心をこめて書きま
した。

國史の時間の後、口答試問の練習があ
りました。名簿順に、主事先生の前にい

つてやりました。入口ではちやんと禮を
して、主事先生の前の椅子の左側に立つ
て一禮し、先生のめかけなさいとおつしや
つたら、腰をかけて、先生の問にお答へし
ます。わりあひと短かでした。

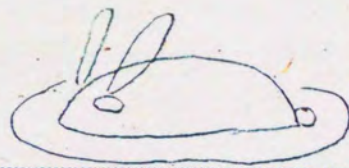
その後お風呂へ入りました。今日は一部
六年が一番最後です。お湯は少いでした
が、暖かくてよいお風呂でした。お風呂
を出たら、すぐ、食事になつてしまひまし
た。カレーが出ました。

歸りも、まだまだ雪が降りつづいてゐま
す。手荷物、園舎の方に預つていたが、
さきまの雪がとて深く、大へんでい
た。村野さんのお家へついてから、先生に
はうきではなかつたが、さました。ぬ
れた物は、火鉢でかわかしました。

二月二十三日

雪もすっかりやんでおました。太陽がきら
 きら雪を反射してまぶしいほどでした。朝
 會後、雪合戦をしました。私は白でし
 た。若めは足が冷くて困ってしまひました
 が、ええ氣を出して、なげっこしてゐるうち
 に、すっかり暖くなりました。山口先生
 は赤で、いらつやいました。その後は雪で
 遊んだり、日記を書いた
 りしました。

晝食は、かうりやん御飯のお雑すゐでし
 た。大へん暖くなりました。午後からはお米運
 びに行きました。道
 がぐしやぐしやで困つてしまひました。道
 歸りは、重くて肩がめげさうになつてし
 まひました。が、こんな事で負けてはな



るものかとかんばつてとうとう運んで来
 ました。自分達の食糧ですもの、自分達
 で運ぶのが當り前だわ。歸り道はぐしやぐ
 しやが氷つてゐてつる
 つとすべりさうで又これも困りました。

オ

コ



二十八日に持つてかへつてもらふ物

セーター・原紙・月紙・フロー・破へん・毛糸
日記帳・辞典・下駄・エリマキ・

頼む物

色鉛筆・何でもいし・鉛筆・ケシゴム・
帳面・日記帳・

